



標高 2,500 メートルを超える高山帯には、多くの希少な動植物が生息・生育しており、北アルプスの美しい自然を形づくっています。当協議会では、ニホンジカの高山帯への侵入状況を把握し、希少な動植物を守るために調査を実施しています。

ニホンジカとカモシカの違い



▲ニホンジカ

ニホンジカは、オスにのみ枝分かれした角があります。体色は茶褐色で、おしりの部分は白い毛でおおわれています。



▲カモシカ

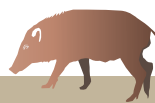
カモシカは、オス・メス共に黒く短い角があります。体色は、灰褐色が多いですが、個体によって違いがあります。



個人情報の取扱いについて

1. 当協議会では、ご提供いただきましたご回答者様の氏名及びメールアドレス等の特定個人を識別できる情報（以下「個人情報」といいます）について、主に以下に記載の目的のために利用させていただきますことがあります。
 - 目撃情報内容への問い合わせ
2. 当協議会では、ご提供いただいた個人情報を事務局である環境省松本自然環境事務所にて管理します。
3. 当協議会では、あらかじめ本人の許諾なく、個人情報を第三者に提供しません。ただし、以下の場合を除きます。
 - 法令に基づき、裁判所や警察等の公的機関から要請があった場合
 - 法令に特別の規定がある場合

イノシシの目撃情報も同時に募集しています。情報をお寄せください。



中部山岳国立公園 野生鳥獣対策連絡協議会

環境省、林野庁、新潟県、富山県、長野県、岐阜県

発行元・事務局

環境省
松本自然環境事務所

〒390-1501
長野県松本市安曇 124-7

TEL.0263-94-2024
FAX.0263-94-2651

E-mail:NCO-NAGANO@env.go.jp



協力

北アルプス山小屋協会、関係市町村

北アルプスでの ニホンジカ 目撃情報 をお寄せください！



▲昭和 54 年 7 月



▲平成 17 年 7 月



▲平成 22 年 7 月

参考：南アルプスの状況

北アルプスでは、ニホンジカが高山帯まで分布を広げており、高山植物が食べつくされてしまうおそれがあります。北アルプス周辺でニホンジカを目撃された方は、電話またはFAX、メールにて当協議会までご連絡ください。皆様のご協力をお願いいたします。

ニホンジカ目撃情報

をお寄せください!

(イノシシの目撃情報も同時に募集しています)

ニホンジカの目撃情報を収集することが、高山帯への被害の予防策につながります。目撃した日時、場所、頭数をお書きいただき、FAXにてお送りください。携帯電話からお送りいただくこともできます。



FAX.0263-94-2651

記入欄

ニホンジカ・イノシシ (○で囲んでください。)

目撃した日時

平成	年	月	日
	時	分	頃

目撃した場所

※右の地図に×印をつけてください。

地名

例) ○○岳と○○岳の間の登山道、東斜面

標高	約	m

目印等

例) ○○kmの標識近く、○○小屋の近く

目撃した頭数

頭	頭	子	頭
角あり	角なし		
頭	頭	頭	頭

氏名

メールアドレス

@

ご協力ありがとうございました。

痕跡の紹介

ニホンジカが生息していると、様々な痕跡が残ります。



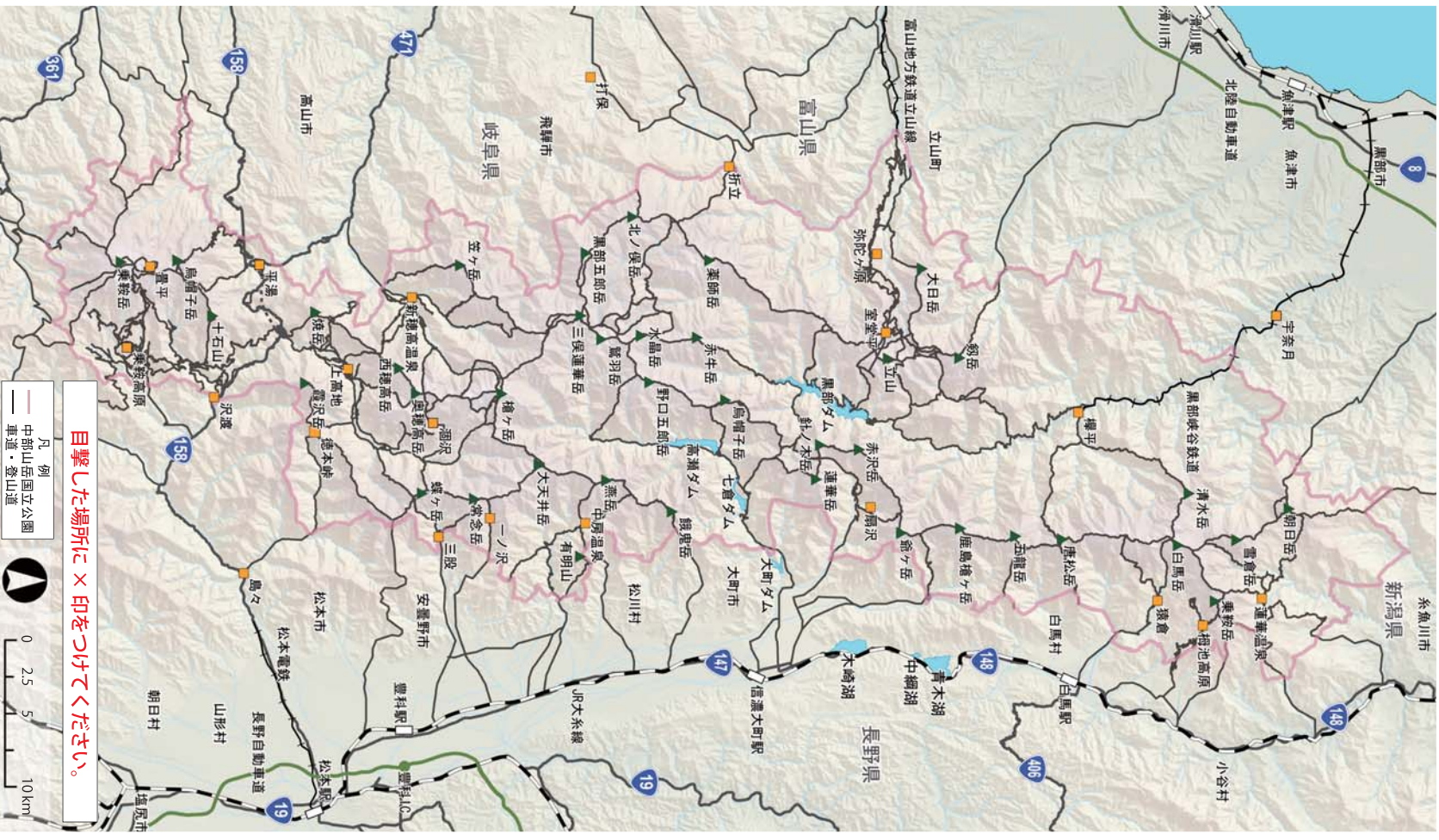
▲足跡
細長く2本の爪跡が平行に残ります。



▲フン
小さな円柱形で、数個〜数十個が散乱します。



▲樹皮の食べ跡
高さ2m程度まで樹皮が剥がされて白くなります。



目撃した場所に×印をつけてください。

凡例
— 中部山岳国立公園
— 車道・登山道



0 2.5 5 10 km

FAX.0263-94-2651

▶ FAX 送信